

## 「和紙」とは。「和紙繊維」とは。



最近、さまざまなメーカーやブランドが「和紙繊維(和紙糸)製品」を謳ったアイテムを販売し、注目を集めています。

さて、そうした製品は、紙でしょうか、布でしょうか。

「これが和紙？」

「どう見ても布製品で、紙には思えないけど？」  
と戸惑うことと思います。

そしてきっと、

「和紙って何？ ただの紙とは違うの？」  
というモヤモヤも感じることでしょう。

実は、和紙繊維にも和紙にも  
公的に定められた基準や定義は、ありません。

基準や定義は、それぞれの技術や価値観によるもの。

そのため、「和紙繊維(和紙糸)」と銘打っている製品のクオリティや質感はまちまちで、いかにも紙っぽいと感じるものもあるかもしれないし、和紙がほんの少し使われているだけの場合もあるでしょう。

キュアテックス独自の和紙糸〈キュアテックスヤーン〉は、  
「和紙」の定義にも、糸づくりの「製法」にも、  
独自の基準とこだわりをもっています。

たとえば、「和紙」の定義。

洋紙が「針葉樹・広葉樹などの“幹”を砕いたパルプ」使うのに対して、  
和紙は「多年生植物の葉・茎の長繊維だけ」を使う。

また、洋紙が「木材パルプ(短繊維)を薬剤で固めて」作るのに対して、  
和紙は「長繊維を絡めて」作る。

私たちは、これこそまさに「和紙の定義」だと考えています。

キュアテックスでは

- ・ 多年生植物の葉・茎の長繊維のみを原料とし、  
針葉樹・広葉樹などの木材パルプを含まない
  - ・ 化学薬品を使用していない
  - ・ 伝統的な紙漉きの流れを汲む機械漉きで抄造されている
- という基準で最上級の和紙を選りすぐり、素材として採用。

越前和紙のふるさと・福井の職人たちが

10年の歳月を費やして開発した独自の方法で、  
和紙 100%の糸〈キュアテックスヤーン〉をつくっています。

- ・ 芯に化学繊維などを使うのではなく、あくまでも素材は「和紙のみ」
- ・ 一般的な湿式紡糸ではなく、水をつけずに撚る「乾式紡糸」
- ・ 紙漉きの原理で右へ左へねじる、「1000回以上の撚り」
- ・ 糸を編地にして水洗いし、天日干しでじっくり「自然乾燥」
- ・ 自然乾燥させた編地を、ほどいて糸にする「柔軟加工」

誰にも真似できないキュアテックスだけのこだわりで、

和紙の特性をそのまま活かしながら

和紙とは思えないやわらかな風合いを持つ糸を実現しています。

どうぞ、ご自身で確かめてみてください。

……できれば、和紙繊維 100%のアイテムで、ぜひ。